

石川県立中央病院 呼吸器内科 医師 _____ 宛

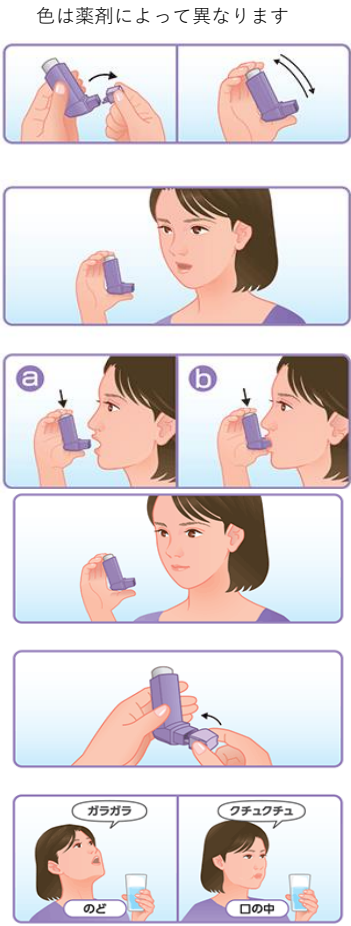
吸入手順書(エアゾール)

(製品名：オルベスコ・キュバル・アドエアエアゾール・フルティフォーム・サルタノール・メプチンエア・ビレーズトリ・ビベスピ)

患者氏名： _____ (ID： _____) 薬局名： _____
 指導日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 薬剤師氏名： _____

(原則、練習用吸入器等を用い評価欄に結果を記入しながら順に指導をしてください) ○良好 △継続指導が必要 ×できない

初回のみ 薬の準備	※新しい吸入器になった時のみ毎回実施します※サルタノールは不要 ※ビレーズトリ・ビベスピは毎週の洗浄後は毎回2回繰り返す	評価
キャップを外します(オルベスコは外側のフィルムをはがす)		
吸入器を5回振ってください		
吸入器のポンベを押すと霧状のガスが出ます。これらの操作を回数繰り返します。 キュバル メプチンエア-2回 オルベスコ3回 アドエア フルティフォーム 4回 ビレーズトリ120・ビベスピ120 振る→ポンベを押すを2回繰り返す(ビレーズトリ56は4回) 週に一回の洗浄後は2回 噴霧時は目に入らないよう十分注意をしてください		
1吸入の準備		評価
うがいをします (1回)		
残量を確認します		
キャップを外します		
吸入器を5回振ってください		
2 息吐き		評価
軽く息を吐き出します		
3 吸入 ※a.bどちらかの方法で実施してください		評価
a 吸入口を唇から3-4cm 離し、舌を下げた状態で(『ホー』と言うときの舌をイメージ) ゆっくり息を吸い込みながら、ポンベを1回押し、十分に吸い込みます。		
b 吸入口を唇 または、歯で軽くくわえて、舌を下げた状態(『ホー』と言うときの舌をイメージ) でゆっくり息を吸い込みながら、ポンベを1回押し、十分に吸い込みます。		
4 息どめ		評価
吸入口から口を離し5秒程度、息を止めます		
5 息吐き		評価
鼻から息をゆっくり吐き出します		
※つづけて吸入する場合		評価
2~5を指示された回数繰り返します。		
6 後片付け		評価
キャップを閉めます		
7 うがい		評価
吸入後は必ずうがいを3回します。		
その他の確認		評価
残量の確認方法が理解できた		
用法用量を理解できた (定期吸入 / 発作時のみ使用)		
定期吸入を継続することの大切さを理解できた		



※指導後、表面のみ石川県立中央病院へFAXし、原本は患者様にお渡しください。

吸入を忘れていたとき 初回のみ操作を下記の通り実施	
キュバル アドエア	1週間以上 2回 ビベスピ ビレーズトリ7日 2回
オルベスコ	1週間以上 3回 フルティフォーム 3日 4回

参考

アドエア



新しい吸入器を初めて使用するとき

初めて使用するときは、アダプターについているキャップの両端をつまんではずします。ボンベの中の薬が均一にまじりあうようによく振り、カウンターの表示が「124」になるまでボンベを押し、4回空噴霧してから使用してください。

※使いはじめはキャップががたつき、取りはずしにくい場合があります。

●製造時の噴霧検査により、成分が吸入口内側にわずかに付着している場合があります。品質に影響はありません。

フルティフォーム



Point 1 吸入器の正面に数字と色で残量がわかるカウンター付き



カウンターは使い始めの緑色から、黄色、赤色へ変わっていきます。

患者さんの注意喚起に

吸入可能回数(最初の試し噴射3回を除く)

- オルベスコ 50 μ gインヘラー 112吸入用(アダプターラベルの色が緑色): 112回
- オルベスコ 100 μ gインヘラー 56吸入用(アダプターラベルの色がオレンジ): 56回
- オルベスコ 100 μ gインヘラー 112吸入用(アダプターラベルの色が黄色): 112回
- オルベスコ 200 μ gインヘラー 56吸入用(アダプターラベルの色が赤色): 56回



キュバール ホームページより

残りの噴霧回数ができる方法はありますか？

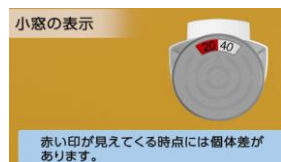
残量計を用意しています。
残量計は定規様の形状で、天秤の原理をもちいています。
キュバールのアルミ容器を残量計の小穴(5つ)のどれかに差しこみ、左右の重さが釣り合う位置でおおよその残量に分かるようになってます。
残量の目安は、「満タン」、「約3/4」、「約半分」、「約1/4」、「わずか」の5段階になっています。

ビレーズトリ ホームページ動画より

吸入器の洗浄 週に1回

吸入補助器具「ブッシュサポーター」を装着している場合は、取り外してください。

ビバスピ



ビレーズトリ

